

## 凡 例

- 1 この年鑑は、東京都の人口、経済、社会及び文化などの各分野にわたり、重要かつ基本的な統計資料を総合的・体系的に収録したものである。なお、統計表には他の区域と区別する必要のない限り、東京都という名称を省いてある。
- 2 この年鑑は、原則として平成元年の統計を収録し、他の年のものは比較対照のため掲げてある。
- 3 統計表は、とくに注記しない限り、何年とあるのは暦年間（1月から12月）、何年度とあるのは会計年度間（4月から翌年3月まで）の事実を示し、何年末、何年度末、何月末あるいは何年何月何日とあるのは、その期日現在の事実を示す。
- 4 統計表の一般的説明は頭注とし、表中説明を要する個々の事項は原則として脚注にした。また資料出所は脚注の一部として掲げた。
- 5 統計表中の符号の用法は、次のとおりである。
  - ……………皆無又は該当数字のないもの
  - … ……………資料のないもの
  - 0, 0.0……………表章単位に満たないもの
  - $x$  ……………数字が秘匿されているものなお、「イタリック体数字」は秘匿された数字を含む。
- r ……………訂正数字
- 6 数字の単位未満は、四捨五入することを原則とした。したがって、合計の数字と内訳の計とが一致しない場合もある。

## 一般的注意事項

- 1 東京都の面積は、建設省国土地理院が公表した「全国都道府県市区町村別面積調」による。平成元年10月1日現在面積のうち、国土地理院が境界未定として面積の公表を保留した団体の面積については、総務局行政部で推算した面積を、暫定数値として使用している。
- 2 この年鑑に収録した統計資料について疑義のある場合は、各表ごとに付してある資料作成機関、または都総務局統計部統計調整課（統計資料編集担当）に照会されたい。
- 3 第9、11、12、15及び20表には、平成2年10月1日に実施された国勢調査の速報値及びそれに基づく人口の補正值等を掲載してある。
- 4 平成2年10月1日現在の男女別人口及び世帯数を附録として添付し、利用者の便を図ることとした。